

事業所名 小規模多機能居宅介護「笑楽日」・グループホーム「風楽里」

運営推進会議開催報告書

| 開催日時 令和3年10月28日(木) 紙面での活動状況報告・意見、感想の聞き取り | | |
|--|----|--------------|
| 参加者 | | 議題 |
| 利用者 | 2人 | 1 活動状況報告 |
| 利用者家族(風楽里) | 1人 | 2 ご意見・ご感想 |
| 〃(笑楽日) | 1人 | 3 身体的拘束適正委員会 |
| 知見者 | 1人 | |
| 市職員 | 1人 | |
| 地域包括支援センター | 2人 | |
| 地域住民の代表者 | 1人 | |
| 事務局 | 2人 | |
| 活動状況報告に関するご意見・ご感想 | | |

1 施設の活動報告

8月・9月は緊急事態宣言が出ていた事もあり、外出レクや外部との接触のある行事(夏祭り、家族会等)は中止させていただき、施設内で季節を感じられる行事を行いました。

10月には緊急事態宣言は解除されましたが、世の中の状況を見ながらの活動となり積極的な外出レクはまだ行っておらず、誕生日の利用者が多かったので行事として行いました。

ご家族様にも感染対策にご協力いただいていることもあり、当施設関係者から感染者や、濃厚接触者に該当される事態も回避されており、ご利用者様の体調不良もなく、運営や職員配置に影響は出ておりません。今後も油断することなく、気持ちを引き締めて感染対策に努めていきたいと思っております。地域の方との交流は、かないませんが、季節の移り変わりは肌で感じて頂きたく、施設内での催しを企画しています。

2 ご意見・ご感想

高齢者福祉課様…面会について、どのような形で行われていますか？

8月・9月県内の感染者が1000人を超えた段階で面会を謝絶しました。ご利用者様とは、ガラス越しでご様子を見て頂いたり、荷物の受け渡しだけにさせていただいていました。10月に入り面会は行えるようにさせて頂きましたが、施設内に入って頂くのはご遠慮いただき、笑楽日玄関の土間での面会とさせて頂いています。

地域の代表様…誕生日会のケーキなどはご利用者様と一緒に作ったりされているのですか？

現在は外注の物を使用しています。コロナ禍という事もあり、食事関係のレクを控えているのが現状です。現在は感染者が減少してきていますので、少しずつ再開していけたらと思っております。

地域包括支援センター様…社内研修の資料や内容はどのように決めているのか？

管理者、ケアマネで話し合い、看護師の意見を聞きながら出来るだけ実際の介護と絡められる内容としています。

利用者様

お喋りは好きなのでよくしゃべりますがすぐ忘れてしまってますね。話すときは色々な方がいるので不快な思いをさせないような話題となるように配慮しています。

事務局から

緊急事態宣言発令中はご家族様にもご協力いただき、面会制限や、感染対策にもご協力いただき大変感謝致しております。コロナ禍が長期化し、ご利用者様の行動範囲も狭くなりましたが、閉じこもりによる筋力など機能低下を防ぐため、毎日1回は施設内や中庭など周回路を歩いて頂く機会を設けるようにしております。

今後も感染対策をとりながらやり方を工夫し、ご利用者様に楽しみを持って過ごして頂けるレクや行事を行っていきたいと思っております。

また今年度は地域との交流の機会もほとんどなく、交流フェスタへの作品の出品のみとなりました。感染者の状況が良ければ、この冬には恒例のもちつき大会を関係者だけにする等やり方を工夫し実施したいと思っております。その際には家族会の開催もできればと思っております。

3 身体的拘束適正委員会

部内ミーティング時に開催している、身体的拘束廃止委員会の報告

8月 コロナ感染対策の為、書面開催

議題：急な立ち上がりの時にも、スピーチロックせずにご本人の行きたいところ、したいことの支援を行う。私たちには理由なく立っているように見えても、ご本人には理由があり言葉での行動制限も拘束にあたる。

◎スピーチロックについての資料配布し、日々の自分の介護の場面で、自分のこととして置き換えて考えてみる。

9月 コロナ感染対策の為、書面開催

議題：自分の介護を振り返る

◎身体拘束とは、5つの方針、3つの原則についての資料配布

10月 コロナ感染対策の為、書面開催

議題：実地指導を受けて、「身体的拘束等の適正化の為の指針」を配布

高齢者福祉課様

身体的拘束は、利用者の転倒や転落を防止する観点から、やむを得ないものとして行われてきた。しかし、身体拘束に代わる方法の検討が不十分なケースがみられたため、利用者の尊厳や自立支援の観点から適正化を図り、身体的拘束を極力少なくする流れとなった。施設内のスタッフや第三者委員も含め、定期的に議論していくことが大切であると思っております。

地域の代表様

自分が親を介護していた時は、行動を制止する為「ダメ」「ここにおいて」など、よく使っていた。

事務局から

なぜ身体的拘束適正委員会が必要なのか、身体的拘束とはなにかが理解できていない職員もいる為、コロナ禍ではありますが出来るだけ多くの職員が出席できる研修会を定期的を開催していきたいと思えます。

以上、令和3年度 第4回 運営推進会議の開催報告書とさせていただきます。